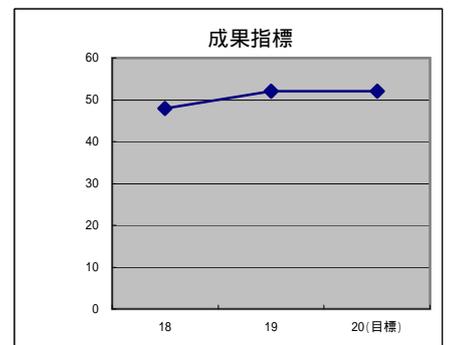


事務事業名		府立高校開放業務		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		款	10	教育費
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育課
	施策の方向	(3)	施設の有効活用と効率的な管理運営		目	1	保健体育総務費
	関連する計画等				事業	1	社会体育
				作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課		
				連絡先	072 958 1111 内線 4411		

事業の目的	対象(誰を・何を) 市内在住・在勤の社会人で構成されたチーム 意図(どういう状態にしたいのか) 学校教育に支障のない範囲で開放し、社会体育の振興を図る。		
事業の内容	羽曳野市内の大阪府立羽曳野高校・西浦高校の2校のグラウンドを社会人で構成されたチームに開放している。グラウンド使用を希望する団体は、例年3月にチームの登録を済ませ審査の結果適正であると認めた場合には、年3回の抽選会に参加する事ができる。第1期(5~7月分)第2期(8~12月分)第3期(1~3月分)年3回抽選会を開催し使用団体を決める。抽選会で当たったチームは申請書に記入して提出し、後日大阪府教育委員会教育長の許可書が発行される。登録費及び使用料は無料。		
根拠法令等	スポーツ振興法		
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年 月開始	<input checked="" type="checkbox"/> 明確にはわからない	終了年度 平成 年度
事業開始時からの状況変化	登録団体が増加している。		
市民や議会の要望	社会人が利用できるグラウンドが少ないことに対する改善要望		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	委託内容
	<input type="checkbox"/> 民間委託		

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】	(千円)	9	0	0
人件費【2】	(千円)	504	420	924
職員数	正規職員	0.06 人	0.05 人	0.11 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	513	420	924
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	513	420
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度	20年度(目標)
団体登録回数	回	1	1	1
抽選会開催回数	回	3	3	3
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		513,000 円	420,000 円	924,000 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		4 円	3 円	8 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
登録チーム数(チーム)	式)	府立高校開放の登録チーム数	40	48	48	52	52	52
					達成率(%)	108.3%		
式)	式)		目標		目標		目標	
			実績		実績		実績	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	評価			分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし	
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	府立高校開放事業は、原則的に社会人が対象であり、社会人のグラウンドの確保が難しいことから、無くてはならない事業である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	年1回の登録と年3回の抽選会実施を最低人員で対応している。グラウンドは無料となっているが、必要な消耗品については各チーム毎に準備している。
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	心身の健全育成、スポーツの普及・振興のために、今後も継続して実施が必要な事業・業務である。ただ、今後羽曳野高校西浦高校の合併が決定したので、開放グラウンドが減ることになる。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の企画立案に市民は参加していないが、積極的な意見があれば反映できるようにしている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会人のグラウンドの確保が難しいことから、本事業の実績値が向上してものと推察される。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	スポーツ人口の増大及びスポーツ活動年齢層の拡大に伴い、公共体育施設だけでは供給不足であり、本事業の拡大・充実に図りたいところであるが、現在、積極的に開放している西浦高校が平成23年3月末に閉校となるため、現状維持も困難な状況が予測される。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	平成23年度以降、更に拡大する「社会人のグラウンド等供給不足」に対する、新たな取り組みを検討する必要がある。